

くらしのみちゾーンの概要

外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地の街区などにおいて、警察と連携して一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取り組みです。

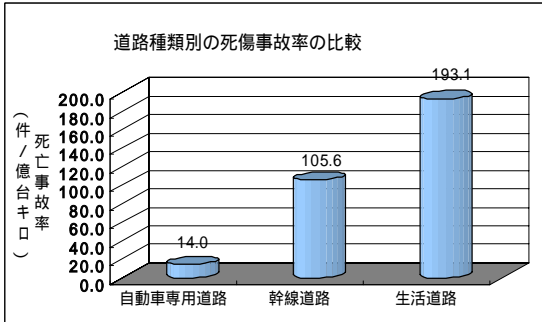
具体的には、ゾーンの入口・出口に速度規制標識を設置したり、クランク、ハンプ等により車の速度低減を図ることにより、身近な道路を車より歩行者・自転車を優先し、安全な交通環境を形成します。さらに、たまりスペースの確保や無電柱化、沿道緑化、バリアフリー化を進め、快適な生活環境を形成します。

また、商店街の活性化を目指し、安心して楽しく買い物ができる道路空間の整備に取り組む地区に対しても積極的に支援していきます。

施策の背景 ~ 車優先から歩行者・自転車優先へ

安全性への不安

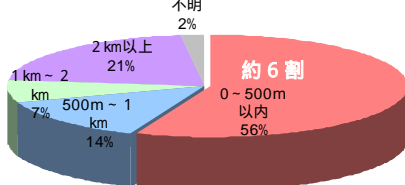
生活道路は幹線道路の2倍以上の事故の危険があります。



出典：(財)交通事故総合分析センター資料(平成15年)

歩行中の死亡事故の約6割は自宅から500m以内で発生しています。

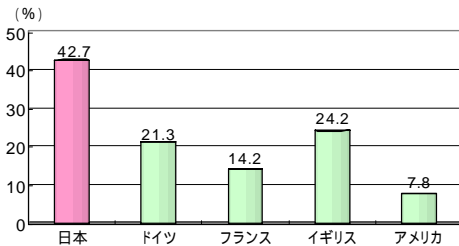
自宅からの距離別死亡事故(歩行中)発生比率



出典：(財)交通事故総合分析センター資料(平成15年)

歩行中・自転車乗用中の死者数が全体の4割を占め、国際的にも高くなっています。

交通事故死者数に占める歩行者・自転車利用者の割合(30日以内死者)(平成15年度)



出典：国際道路交通事故データベース(IRTAD)

快適性や環境への要望

段差がなく広くて歩きやすい歩行環境が求められています。

「波打ち歩道」と呼ばれる段差の多い歩道



電線類の地中化や住民参加による道路美化活動など、良好な景観形成などが求められています。

電線類が空を覆い、緑が少ない身近な道路



車優先から歩行者・自転車優先へ

商店街への展開

商店街の活性化を目指し、安心して楽しく買い物ができる道路空間を整備

安全



クラシクの整備

車両スピードの抑制により安心して歩けるみち

快適・環境



案内標識の設置

来街者にわかりやすい施設・道案内



【商店街での導入イメージ】



停車帯の整備

路上駐車の解消により歩きやすいみち



無電中化

電線の無い美しいまち並み

【歩行空間のバリアフリー化】

- ・歩道の段差・傾斜・勾配の改善
- ・視覚障害者誘導用ブロックの設置
- ・透水性舗装、保水性舗装などの整備 等